

多様な災害に対応した BCP 策定ガイドラインに関する検討会

第 1 回検討会 議事要旨

日時：令和 4 年 11 月 25 日（金）10：00～12：00

場所：国土交通省 低層棟共用会議室 1 / リモート会議（Teams）

※資料の説明がなされた後、意見交換を行った。

- 新しいガイドラインは、取組事例を加えて見直す予定であり、また、マネジメントの視点を加えたい。前回は地震想定で作成したが、予見できる自然災害の視点を加えたい。
- アンケート調査の大きな変更として、製造業が加わることになった。前回は着荷主の視点であるが、今回は発荷主の視点が加わった。発荷主は運送契約で対応できるが、着荷主は契約では対応できない。発荷主と着荷主の関係や連携もある。また、災害の想定について、東日本大震災では、被災地の着荷主とその周辺の状況が問題となった。輸送する道路が被災したケース、発荷主の工場が被災したケースなどの状況による違いもある。大雪の際にドライバーの安全を考えると、着荷主の理解を得て、発荷主が輸送しないという判断になる。発荷主、着荷主を区分した対応が必要ではないか。
- BCP の最終目的は、生活を守るということか。コンビニエンスストアの場合、物流センターは発荷主、店舗は着荷主になる。在庫型商品はよいが、製造型商品は工場側が被災した場合は商品が入ってこない。最低限の流通でどこまで確保すればよいかという問題もある。
- 西日本豪雨の時に政府より調達要請があった。供給できるもの、確保できたものを被災地にどのように運ぶのがポイントだった。大雪・大雪の時の対応は、通常の商品供給と、被災者への緊急支援に大別される。後者は通常対応にプラスオンされるため、負荷が大きくなる。内閣府の物流供給システムの議論にも参加している。どのような被害を想定して具体的な対策を考えるか、例えば、事前の対策について契約が結ばれるかということも確認していく必要がある。
- 協会として BCP の取り組みなどの把握はしていない。発荷主、着荷主という視点で言うと、センターから店舗までいかに効率的に運ぶことを中心となるが、アンケートでどのプロセスを取ろうとしているのかを明確にしないと焦点がぼける。通常事業を確保するための BCP と、被災地に生活必需品を届けるための BCP も分ける必要がある。道路の被災状況や代替ルートも重要であり、サプライチェーン上の道路被災情報を即座に入手できることが重要だと思う。

- **BCP** ということであれば、優先業務と復旧時間を入れないといけない。発災後 72 時間の話としての緊急物資対応は、別途議論されている。地震以外の大規模災害の観点から、コンビニエンスストアでは台風などの事前対策として、被災状況の事前情報を収集し、輸送を止めるという計画運休などの対策を行っている。
- 顧客個社の **BCP** への対応については、各担当で個別対応を行う。当社としての **BCP** は、顧客の優先順位を決めて対応するという **BCP** を持つ。また、例えば、代替輸送などの対応も計画を作成している。天気予報の精度向上を踏まえ、大雪、大雨、台風が想定される場合には、事前に別の輸送手段の確保の取組を進めている。これら情報をガイドラインに反映できるとよい。災害時支援物資輸送については対応するためのマニュアルがある。
- 東日本大震災の時は、被災地での燃料不足に対処した。今回は被災地支援より、幹線物流の寸断を想定した時の代替手段となるトラックとの連携を確保する点がポイントだと思う。通常代替輸送のようにはいかないのが、荷主側の在庫の持ち方・センターのあり方などについて議論が深められればと思う。
- 「予見可能」の定義や **BCP** の策定率も業界で違うので、アンケートでこうした業界ごとの対比もできるとよい。気象会社情報をもとに事前対策を進めている。その際の課題も明らかにできるとよい。
- 中小企業の集まりなので、無理な運行の要請を防ぎたい。国交省の基準もあるので、その遵守を反映させたい。多くの荷主との契約があり対応がバラバラだと混乱する。そうした対応を反映したい。
- 平成 25 年に **BCP** ガイドラインを作成し、普及を進めたが、十分定着していない。平成 28 年にも簡易版を作成し、説明会を実施してきた。物流効率化の講演を進めているが、その中で **BCP** の講演も行っている。
- 当協会では、**BCP** のガイドラインは作っていない。2010 年に地震防災対策マニュアルを作成している。これは従業員の安全管理が中心で、物流は触れていない。物流では、発、着荷主の両方を対応することになる。震災のあった地区から震災のなかった地区にモノを送るということをやっている。両方の視点からお願いをし、協力したい。
- 令和 2 年 3 月 **BCP** ガイドラインの第 2 版を作成して会員に発送している。輸送業、倉庫業も参加している団体なので、幅広い業者の意見を集めて協力したい。
- 論点が多岐にわたるので絞り込む必要がある。緊急物資よりも、発災からある程度過ぎた段階を荷主・物流事業者の連携をターゲットとする。また、予見できる災害の対応において、各社判断だと混乱してしまう。「シグナル」のようなもので、ある程度、まとま

った対応が重要だと理解している。

- 各企業向けのガイドラインとするのか、国として生活を守ることが目的なのかで違う。今回は、企業が **BCP** を策定する際の注意点を示し、よりよい **BCP** を作っていくためのガイドラインだと思う。その時の連携の仕方を書いていくなかで、無理をして運ぶようなことをやめさせる対応もしっかり書くべきだと思う。
- **BCP** 全体を扱うのか、連携の部分に絞るのか、多様な災害をどう扱うか、全部処理できないので、前提を整理すべきである。アンケートも網羅的になっているので、絞り込んだ上で詳しく聞く方がよい。